



札幌医科大学医学部附属  
がん研究所  
Cancer Research Institute,  
Sapporo Medical University



### 札幌医科大学 附属がん研究所の概要

札幌医科大学医学部附属がん研究所は、北海道におけるがん対策の強化という社会的要請に応えることを目標として昭和 30 年(1995 年)に設置されました。

当初は、病理学部門と内科学部門の 2 部門でしたが、現在は生化学部門、分子生物学部門および分子病理病態学部門の 3 部門から構成され、所長ならびに専任職員 17 名が研究に従事しています。

現施設(2F~4F)は昭和 52 年 8 月に完成し、研究室など 55 室 1,617m<sup>2</sup>を有しています。大学の臨床医学講座、基礎講座および他の附属施設との密接な連携のもとに、がんの基礎研究および応用研究の分野で幅広い研究活動を行い、世界的レベルの研究成果を発信しています。また昭和 41 年(1966 年)以来、本研究所では英文学術誌 Tumor Research を定期刊行しています。

当研究所では、医学部学生の基礎医学教育指導(第 2 学年授業科目の分担および第 4 学年の研究室(基礎)配属)に参画し、急速に進展する生命医科学を基礎医学教育に反映させる役割も担っています。また、大学院医学研究科専攻科目の腫瘍分子医科学(生化学部門)、ゲノム医科学(分子生物学部門)、臓器発生・再生医学(分子病理病態部門)を担当し、大学院生ならびに研究生の教育研究指導等も担当しております。